

「Cマネジ研、本格始動へ

素練技術者が「維持管理」支援

技術開発や国際展開など

シニアエンジニアリングが培った経験ノウハウをメインフレーム維持管理へ活用する、NPO法人「社会基盤ライフサイクルマネジメント研究会(有山正樹理事長)」が本格始動する。今月内に説明会を開催する調査会を始めると、府や自治体、施設する維持管理開発、コンピュータネットワークを構ねる。また、国内外の政策を終え、国内外の政

企業業者が実	全会員からのアンケート	維持管理・補修・構強
理面の技術	トする知見を政策提言に	解体、リサイクル、廃棄
ニアンス、	まとめ、次世代へ継承し	まで竣工後を中心にライ
メント等に	ていく。	フサイクル全会員シナテ
拠点サポート	社会基盤のライフサイ	エンジニアリングの「わ
練技術者自	クルアンケートは各種	ざ」であるアンケート
社会基盤の	リスクを定量的に分析、	能力を発揮させる体制を
時代到来に	対応策と異常事態に備え	整えた。インフラ維持管
ライフサイク	るリスクアンケートが	理時代に対応する技術

アリンクが中立・独立的な立場で知的マンパワーを提供していく。調査記に加え、研究会が独自で維持管理面の設計・工管理技術を検討していく。さらに、地球温暖化に伴う災害化へ備え、維持管理技術のコンサルティング機能を強化する。
・制度・ファイナンス、マネジメントを支援。NPOなど「新たな公」を積極活用した持続可能な社会基盤システムを調査していく。
各種施設機能の長寿化にあたっては受益者一人ひとりの個別性を尊重する。
研究会に属する多分野のシニアエンジニアコンサルタントや専門家が専門的な原因究明や技術相談に応じて、依頼者と当事者の意間に左右されない公平公正な結論を出す。
次世代への技術継承

工業株式会社
音・防
06-6386-9312
022-2341-5571・千葉
045-4773660・北関東048(789)0720
会員登録番号 (32665) 5 6 3 1(代)

三秦地所

を複合導入

を行つもの。輻射パネルは天井と壁に採用。熱交換ホースには、トヨタが新開発したガスバリュア樹脂ホースを使い、ピンホール漏水の懸念を解消している。

そのほか、空調の個調節に対応する床下吹出し空調や、窓にはヒートエクスカバーがあり、各部屋の消費量削減、知的性などを検証する。

5月に開催した同オーディオ内覧会で木村憲司長は、「我々も環境を重視する」として取り組んでいる。環境技術は日進歩しており、長い立場

場パトロールを展開している。2日は、竹中委員長自らがパトロールに出向き、佐藤工業が新潟県内に施工中の一般国道253号八箇峠道路「八箇峠トンネル(南北)」(北陸魚沼工区)工事に着手する旨を告げた。この工事は、昨年3月に施行された規則改正によるもので、規則改正の施行後初めての実績となる。

粉じん対策の有用性確認
土工協安全委員会が現場ハトロール
工業環境基準による粉じん露濃度の測定結果をもとに、各工事現場で実施する粉じん対策の効果を確認するため、各工事現場にてハトロールによる現地調査を行った。その結果、ハトロールによる現地調査は、各工事現場における粉じん対策の実効性を確認する上で非常に有用であることがわかった。

終業年、工事を一時停止しておられ、現在3分程度まで掘削が完了していると言つておる。工期は12年12月まで。バトロールでは換気計画じんきう生産対策、粉塵度、またじんじんを運営する竹中委員長からバトロール団一行は小出労働基準監督署を訪問し挨拶。発注者の長岡国道事務所も訪問し、安全対策などについて懇談した。

